

デジタルマップによる情報の可視化と 回遊性向上の取組

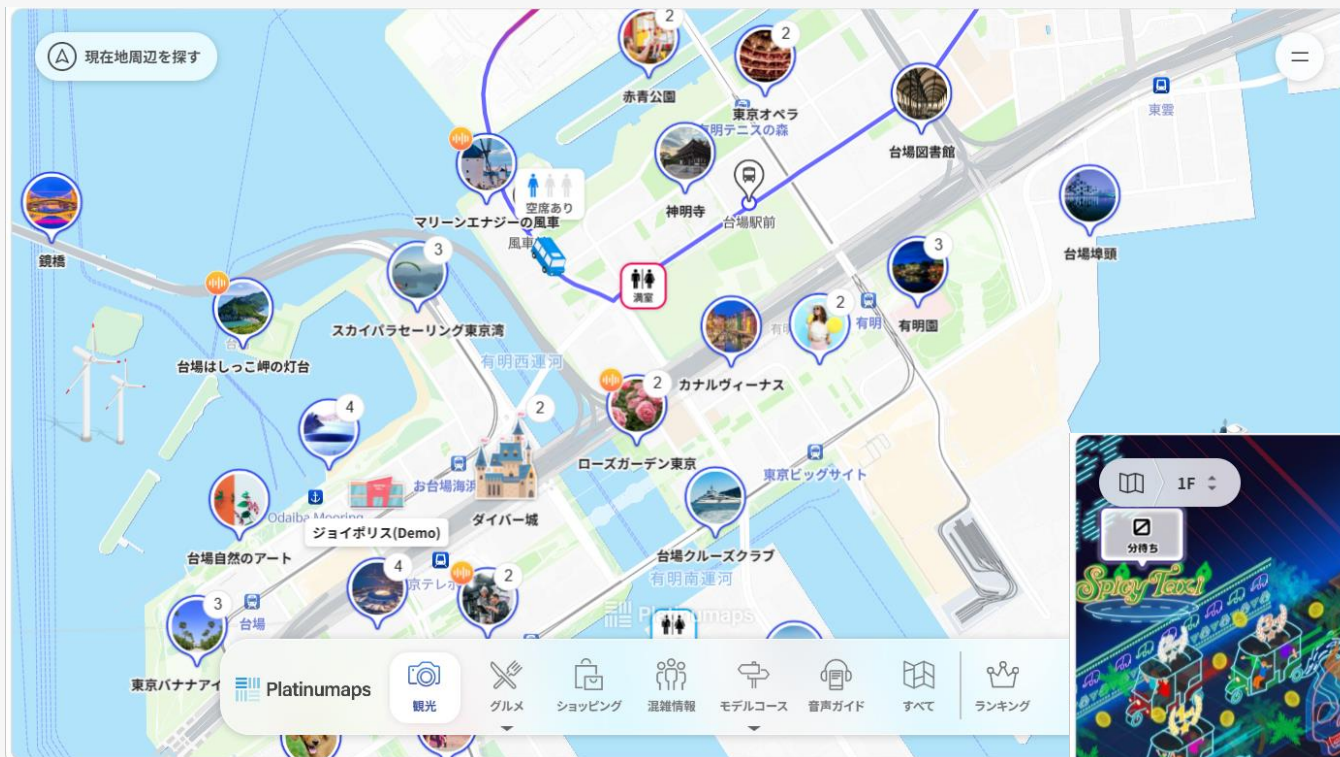
2026/7/15

株式会社マクニカ
イノベーション戦略事業本部
高綱

Agenda

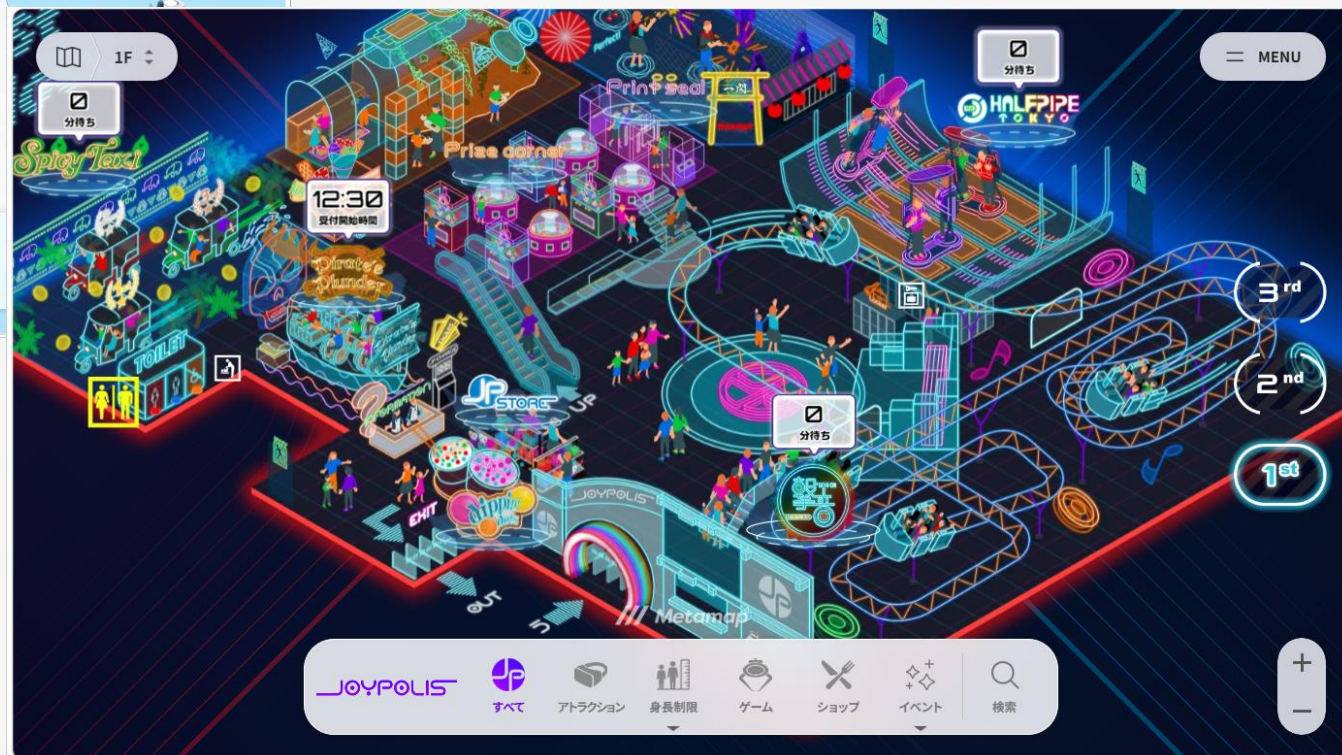
- ① デジタルマップの考え方
回遊性と関係人口ーマップが生む価値とは何か
- ② 尾道市 事例
観光マップから生活インフラへの拡張事例
- ③ 常陸太田市 事例
モビリティ起点から観光へ拡大中の発展途上モデル
- ④ まとめ
本質の抽象化と政策への接続

デジタルマップとは



例1：屋外マップ^o

例 2：屋内マップ



その施策、“使われ続けていますか？”

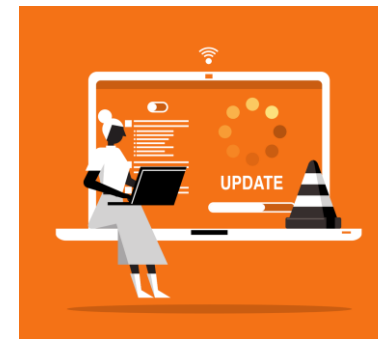
こんな状況、心当たりはありませんか？



- ☐ 観光資源はあるが、うまく活用できていない
- ☐ 回遊性向上の施策を打っているが、伸び悩んでいる
- ☐ データや情報がバラバラに存在している

情報が一元化されておらず、ユーザーが迷子になっている

+



- ☐ マップやアプリを作ったが、使われていない
- ☐ 事業終了後に更新されず、陳腐化してしまう
- ☐ 施策の効果が測れずPDCAが回せない

作ることが目的になり、「使われ続ける」仕組みがない

情報が分断され、作って終わりにになり、効果が測れない—— 「使われ続ける地図」が必要

① デジタルマップの考え方

① デジタルマップの考え方



情報と移動の接続

- 情報の一元化
- 移動手段のリアルタイム表示
- ユーザーの行動判断支援
- 「どこへ行けばよいか」が見える



回遊性
(情報の接続)



巻き込みによる共創

- マップは一人では作れない
- 関係人口の巻き込み
- 地域密着でDeepな中身へ



関係人口
(人の接続)



一緒に育てる運用

- ゴール設定 → 到達
- 次の課題共有
- 更新サイクルの継続
- 自走化がゴール



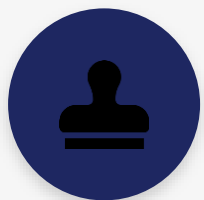
継続的な進化
(月日の接続)

共通しているのは・・・点を線にする、線を面にする

① デジタルマップの考え方—行動をデザイン

デジタルマップとは

- 観光・施設・イベントなどの情報を地図上に統合し、簡単に発信できるデジタルマップ基盤
- 情報・導線・施策を一体化できる



行動を起こす

- スタンプラリー
- クーポン配信

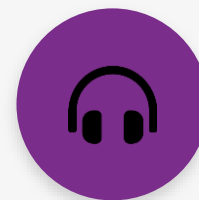
→ 立ち寄り・周遊のきっかけ



行動を変える

- 混雑状況の可視化
- モビリティのリアルタイム表示

→ 行き先・タイミングの最適化



行動を深める

- 音声ガイド（多言語）
- レビュー・情報追加

→ 滞在価値・理解の向上



行動を完結する

- 予約・決済機能

→ 移動→体験→消費をワンストップ化

デジタルマップはただの案内ツールではなく、
人の行動をデザインする基盤

① デジタルマップの考え方—サービスにつなぐ入口



デジタルマップですべての機能を持つ必要はない — 街にあるサービスと情報をつなぐ「入口」になることが本質

② 尾道市 事例

② 尾道市 事例



回遊性の視点

- 観光客の周遊・滞在を支えた情報が住民の日常の移動にも波及
- 「情報と移動の接続」が観光→生活へとクロスした事例



関係人口の視点

- 現場ヒアリングを重ね、多くの関係人口を構築
- 利用者の声を反映し、対象を観光客から来訪者（通勤・通学）へ拡張
- 巻き込みの広がりが観光から生活インフラへの拡張を後押し



キーポイント

- 最初は小さく始める
- 観光起点でも生活インフラへ拡張可能
- 正解は一つではない — 自分の街ならどう育てるかを考える素材として

② 尾道市 事例 — 現場から生まれた拡張

① 地元の声から始まった拡張

市民・事業者ヒアリングで課題を抽出
「最初から作り込まない」使われながら進化

② 声がそのまま機能に

渡船の乗り遅れ不便 → リアルタイム位置情報を実装
困りごとが回遊の中断要因を解消

③ 既存活動をつないだ

高校生の「おのみち百菓典」をデジタル化
学生の発信が店舗来訪・人気に影響

④ 多様な主体が関与する構造へ

学生・NPO・商店街・観光協会・交通事業者が参加
使う人が増えるほど関係人口が増える仕組み

▼渡船リアルタイム位置情報

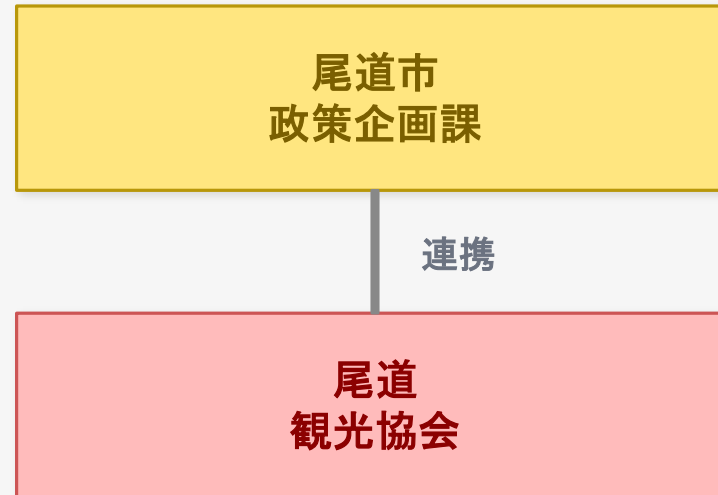


▼高校生作成おのみち百菓典

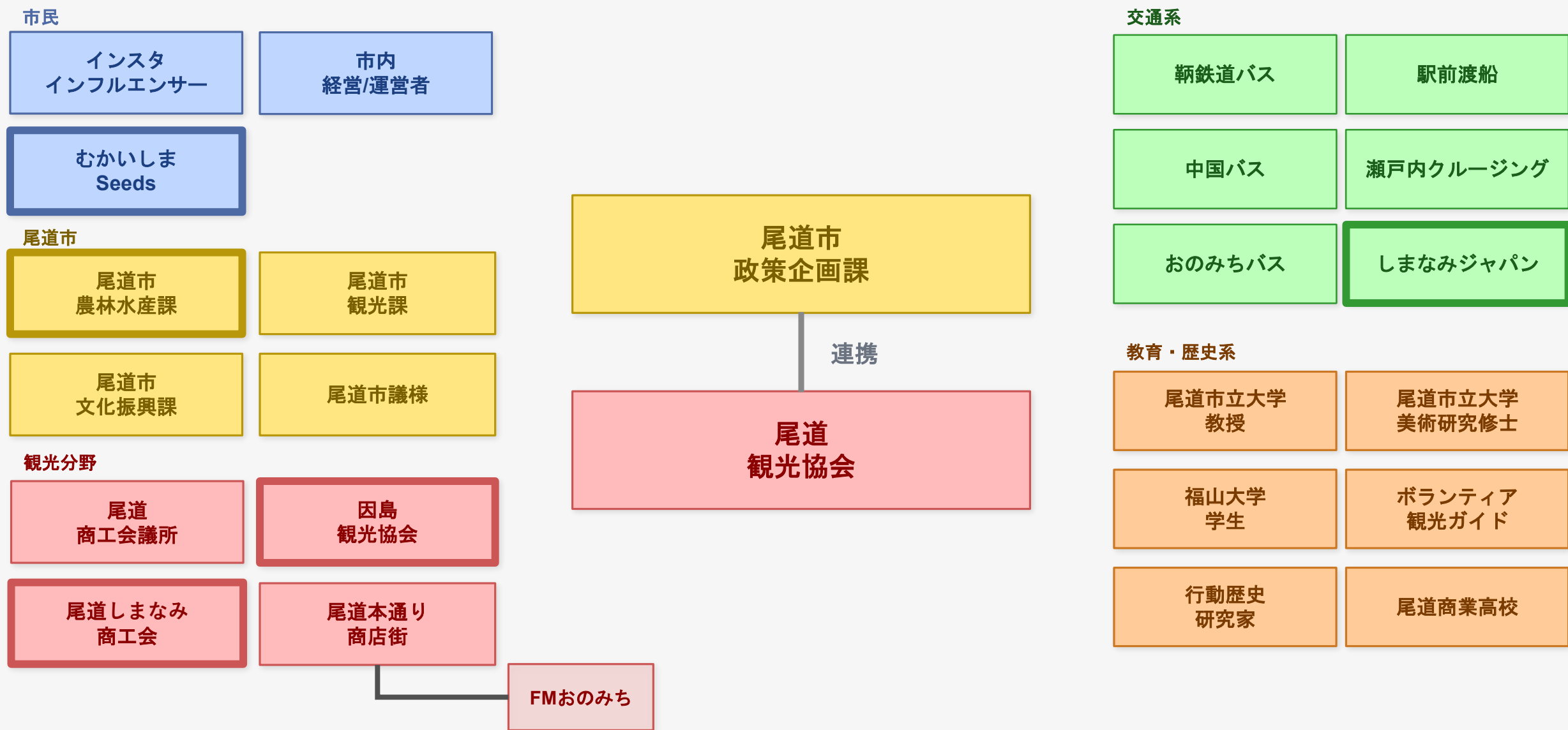


「機能を作った」のではなく、 **地域の声と活動を『つないだ』結果、広がった**

② 尾道市 事例 ― 関係人口の拡大（スタート時点）



② 尾道市 事例 — 関係人口の拡大（現在）



③ 常陸太田市 事例

③ 常陸太田市 事例 — 常陸太田市様の声



導入背景

- 未来技術社会実装事業の採択
- 自動運転バス利用促進



現在の取り組み

- 自動運転バスのリアルタイム位置情報・混雑状況の見える化
- 既存サービスとの接続



現場の声

- 情報の一元化
- 利用者の意思決定支援



課題と展望

- データ不足
- 部門連携
- 今後の拡張

③ 常陸太田市 事例 — 常陸太田市様の声

観光果樹園検索アプリ「KAJUAL」ダウンロードページ

常陸太田市の観光果樹園をお調べの際には「KAJUAL」をご利用ください！



“KAJUAL”は常陸太田市のぶどう園、梨園、いちご園の営業状況をお知らせします。
一覧から現在営業中の果樹園を簡単に探すことができます。

API連携



導入背景

- 未来技術社会実装事業の採択
- 自動運転バス利用促進



現在の取り組み

- 自動運転バスのリアルタイム位置情報・混雑状況の見える化
- 既存サービスとの接続



現場の声

- 情報の一元化
- 利用者の意思決定支援



課題と展望

- データ不足
- 部門連携
- 今後の拡張

③ 常陸太田市 事例 — 常陸太田市様の声



導入背景

- 未来技術社会実装事業の採択
- 自動運転バス利用促進



現在の取り組み

- 自動運転バスのリアルタイム位置情報・混雑状況の見える化
- 既存サービスとの接続



現場の声

- 情報の一元化
- 利用者の意思決定支援



課題と展望

- データ不足
- 部門連携
- 今後の拡張

③ 常陸太田市 事例 — 常陸太田市様の声



導入背景

- 未来技術社会実装事業の採択
- 自動運転バス利用促進



現在の取り組み

- 自動運転バスのリアルタイム位置情報・混雑状況の見える化
- 既存サービスとの接続



現場の声

- 情報の一元化
- 利用者の意思決定支援



課題と展望

- データ不足
- 部門連携
- 今後の拡張

③ 常陸太田市 事例



回遊性の視点

- ・ 「移動」そのものを起点に情報を接続
- ・ 生活情報だけではなく、観光情報の掲載に発展
- ・ 移動基盤を主軸にした観光回遊については模索中



関係人口の視点

- ・ 現場の声を起点に観光分野へ拡大中（対象：住民 → 住民＋観光）
- ・ 果樹園アプリ（既存ツール）との連携



「一緒に育てる運用」

- ・ やりたいことを一緒に決め、ゴール設定
- ・ 到達 → 次の景色（課題）を共有 → 更新
- ・ 完成を待たず、回しながらアップデート

③ 常陸太田市 事例 — 発展の可能性

①

地元の声から広がる余地

現在：モビリティを起点に情報を可視化中
「何を載せるか」を一緒に決めている段階

>> 声から機能が生まれるフェーズにいる

②

発展の方向性

住民の声 → 待ち時間・乗り継ぎ・不便の可視化
民間・観光 → イベント・スポット情報の掲載
生活情報 → 買い物・医療・日常移動の支援

>> 「移動」から「行き先・生活」へ広がる可能性

③

関係人口の広がり余地

現在：行政・交通中心
今後：地域事業者 / 学校・若者 / イベント団体

>> 巻き込みが増えるほど地図が地域の共通基盤に変化

④

育て方のポイント

最初から完成型を作らない
小さく始めて、使いながら更新
「やりたいこと」を都度追加

>> 回しながら育てることが前提

④ まとめ

④ まとめ

地域の"今"をつなぎ続けることが、回遊のきっかけを生む

01

両輪で動く

「情報と移動の接続（回遊性）」
「巻き込みによる共創（関係人口）」

2つが揃うことで、地域密着でDeepな活用が生まれる。

02

つなぐことで生まれる価値

高校生が作っていた地域マップのデジタル化
果樹園リアルタイム情報アプリ

0から作るのではなく、すでにある活動・データを接続することで価値が生まれる。

03

マップは生き物

バスの位置
果樹園の在庫
イベントの開催情報

地域の情報はリアルタイム。一度使って終わりではなく、「今日も確認しよう」と何回も開かれる鮮度と仕組みが大切。

04

納品物ではなく、育てるもの

デジタルは目的ではなく手段。
地図を「作って終わり」ではない。

使われながら育て続けることが本質。ゴールは完成ではなく、自分たちで更新し続けられる「自走化」。



- ・本資料に記載されている会社名、商品またはサービス名等は各社の商標または登録商標です。なお、本資料中では、「™」、「®」は明記しておりません。
- ・本資料のすべての著作権は、第三者または株式会社マクニカに属しており、(著作権法で許諾される範囲を超えて) 無断で本資料の全部または一部を複製・転載等することを禁じます。
- ・本資料は作成日現在における情報を元に作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。